

北東アジア非核兵器地帯へ： 朝鮮半島非核化合意の公正な 履行に関する市民の監視活動



非核化合意履行・監視プロジェクト

Citizens' Watch for a Fair Implementation of Korean Peninsula Denuclearization Agreements

朝鮮半島の画期的な動きを成功させるためのプロジェクトです。
出来事の一部を切り取った内容のメディア報道に、一度立ち止
まって考えてみよう。

監視報告ブログを読もう

<https://nonukes-northeast-asia-peacedepot.blogspot.com/>



- 「非核化 監視プロジェクト」で検索
- メルマガの申込み先：
office@peacedepot.org

2018年4月、ポンペオ米国務長官訪朝時の会話：
ポンペオ「非核化を実行する意思があるのか？」
金正恩「私は父親であり夫だ。私には子どもがいる。私の子
どもたちが生涯核を抱えて生きていくことを望まない」
(『ハンギョレ』新聞、2019年2月25日)



NPO法人ピーステポ

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-30-27-4 1F
TEL:045-563-5101 FAX:045-563-9907

プロジェクト趣旨

2018年4月、韓国と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の南北首脳会談が行われ、同年6月、米国と北朝鮮のシンガポール首脳会談が行われました。

2つの首脳会談により、核戦争の瀬戸際にあった北東アジアの国際情勢は平和の実現に向けて大きく変化し、対話が継続されています。

2つの首脳合意が誠実に履行されるには、関係国の忍耐強い外交努力とともに、市民が果たすべき役割が極めて大きいです。平和団体が外交の進展を注意深く監視しつつ、誤ったメディア報道をただし、政府や広く市民社会に伝える必要があります。

【活動】 監視報告の発行(約3週間に1回)。ブログ掲載とメルマガ発信。

【プロジェクト・メンバー】 浅野美帆、荒井摂子、梅林宏道(リーダー)、金マリア、パティ・ウィリス、平井夏苗、前川大、森山拓也、湯浅一郎

監視報告バックナンバー

1	2018年 11月14日	「日本政府の対北朝鮮政策:強硬姿勢から日和見姿勢に」 「米朝交渉の方法論にどこまでの一致があるか?方法論の透明性を上げることが、非核化プロセスの安定性を向上させる。」
2	12月10日	「米韓作業部会の真価は、韓国のリードと北朝鮮との意思疎通の確保によって高められる」
3	12月25日	「<朝鮮半島と周辺>の平和構築のために日本の役割を見出そうとする日本政府の姿勢が見えない」
4	2019年 1月21日	「軍事演習を巡って不要な緊張を生むべきではない。軍事的信頼醸成には段階的な前進が必要だ。」
5	2月12日	「金正恩「年頭の辞」が流れを作り、米国には同時並行の段階的措置をとる変化が現れた。」
6	2月25日	「マスメディアは「北朝鮮の非核化」ばかりに注目するが、今後の米朝交渉の焦点は米国の「平和体制構築」への姿勢だ」
7	3月11日	「ハノイ会談は失敗であったとは言えない。国際社会は段階的制裁緩和について中口を含む多元外交の役割を検討すべきである。」
8	4月1日	「米の強硬路線への回帰は誤りであり、経済制裁の段階的緩和を追求する方向へ方針転換すべきである。」

2019年4月10日現在